

6 家庭・地域・関係機関等との連携体制の充実

子どもたちの学びや心身の成長を支えていくためには、学校と家庭・地域・関係機関等が相互に連携する体制の充実を図ることが大切です。

そのためには、学校運営協議会の取組の充実を図るとともに、地域と一体となった絆づくりのための取組や各教科等の学習において、関係機関や外部人材を積極的に活用するなどし、子どもたちが地域や社会との関わりの中で様々な人から学ぶ機会を充実させることが重要です。

◆家庭や地域とのつながりを生かした取組の推進

◇学校運営協議会において、保護者や地域の方々と、目指す子どもの姿や取組の方向性、課題等について協議を行い、学校と家庭・地域が連携して子どもを支える取組を推進する。

◇地域素材や人材の積極的な活用を図り、子どもたちが人と人との絆のすばらしさを実感できる機会を設定する。

<取組例>

- ゲストティーチャーを招いて学んだ地域に伝わる伝統芸能について、その成果を保護者や地域に向けて発表することを通して、地域とのつながりを感じることができた。

◇学校評価等を活用し、保護者や地域、教職員の願いを踏まえた教育活動の工夫・改善が図られるようにする。

◇地域の行事やボランティア活動等への参加を通して地域の一員としての自覚を促したり、学校の取組や目指す方向性について、ホームページや学校報等で積極的に情報を発信するなど、家庭や地域と共にある学校づくりに努める。

◆関係機関や外部人材を活用した取組の推進

◇各教科等の学習において、地域と連携した体験活動や講話会を実施するなど、様々な人との関わりを通して、自分の生き方や社会とのつながりについて考える機会の充実を図る。

◇地域と連携した防災訓練やボランティア活動等への参加を通して、地域のために自分たちができることを考え、実践する場を設ける。

◇社会教育施設（→P 6 2 社会教育施設等参照）や地域の史跡のほか、「小・中学校出前授業」や環境学習サポート事業を活用するなど、地域や関係機関と連携した体験活動の充実を図る。



【ふるさと先生に学ぶ地層見学】



【地域との合同クリーンアップ】



【関係機関と連携した学習活動】

